

家でのこと

訪問看護で出会う13の珠玉の物語

高橋恵子=著

定価1,540円(本体1,400円+税)

医学書院 ☎03-3817-5650

訪問看護の本当の部分
教えてくれる一冊

公益財団法人日本訪問看護財団常務理事

佐藤美穂子

私は四十数年間、飽くことなく訪問看護を
追いつけてきました。ナイチンゲールやヘン
ダーソンの理念をよりどころと

しながら、訪問看護こそ看護の
原点の実践であり、地域で暮ら
す人々の健康を守る番人である
と。それでも、いまだに「訪問
看護の根っこ探し」は続してい
ます。「訪問看護は本当に役に
立っていますか？」と後輩から
問われると、「在宅療養者を最期
まで支えているのは訪問看護師ですよ」と即
答しますが、根拠や成果を細かく問われると
自信が揺らいでしまうこともしばしばあります。

看護が本来持っている力を表現する
漫画の魅力

私は雑誌『訪問看護と介護』の愛読者で長
年お世話になっていますが、最近の1年間は
表紙絵とともに「家でのこと」というタイト
ルの連載漫画を毎月楽しみにしていました。
水彩画の明るさと素朴さが程よく、このタッ

チは訪問看護の場面にびったり当てはまって
いると感じていました。また、オフィシャル
な看護記録にはなかなか書けない空気感がま
んがに描かれていて、訪問看護の特徴を浮き
彫りにしているなあと。

『訪問看護と介護』の連載に新作を加え刊行
された本書は、13話全てに書き下ろしの散文
が追加されたことで、さりげなく読んでいた
一話一話の深い意味にあらためて気付かされま
す。訪問看護師にとって励みになる一冊です。
また、本書によって多くの看護関係者に訪問
看護の醍醐味が伝わり、訪問看護師になる方
が増えるのではないかと期待が膨らみます。

一話一話が一人ひとりの「家でのこと」

訪問看護師は療養者や家族と向き合い、健
康状態を維持するために何が適切か、正しい
かが分かっている、本人の生きる力や役割
楽しさなどどう折り合いをつけていくかに倫理
的葛藤を持つことがあります。友人は哀しみを
半分にし、喜びを2倍にすると言われます
が、訪問看護師は利用者と悲喜こもこもを分

かち合うことで利用者の支えとなり、一方で
利用者は看護師自身をプロの支援者に育てる
力になってくれているのだと思います。
葛藤を経験しながら、お互いが関係し合っ
てつくり上げていくのが訪問看護です。

また、本書を読んで、看護の成果を表現す
る上で「物語」が重要であるがゆえに、訪問
看護師は「書きたい」のだと、あらためて感
じました。看護記録の文章が長くなり、記録
に時間がかかるのもやむを得ないと思えてき
ました。そういうことだったのかと。

本物の訪問看護とは

2021年度介護報酬改定において、科学
的裏付けに基づくケアの提供と質向上を図る
ために、LIFE(科学的介護情報システム)
へのデータ提出とフィードバックを受けてP
DCAサイクルを推進する取り組みが訪問看
護でも推奨されており、これは必要なことだ
と考えています。また、これから2040年
に向けて看護・介護人材の減少が進む中、I
CT活用による業務効率化・生産性の向上を
求める波に看護も乗らざるを得ないと思っ
ています。

それでも本書は、そんな考えに傾きつつあ
る私の肩をポンと叩いて、「データによる質
向上や効率化を図る看護もいいけど、一人ひ
とりの物語に寄り添う訪問看護は本物よ」と
語りかけてくれます。続編も心待ちにしてい
ます。